

乗雲

寺報 第71号

H19.10.10 発行
広蔵寺

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL0254-43-2419
FAX0254-43-4560
振替
00650-4-5381

住職 神田英俊

E メールアドレス
zen@kogonji.jp



老婆心切(ろづばしんせつ)

明年、大本山永平寺では三世徹通義介(てつとうぎかい)禅師の七百回大遠忌が修行されます。(四月十六日、二十一日、御正法要は四月二十一日)

永平寺開山道元(どうげん)禅師、二世懷奘(えいじょう)禅師、三世義介禅師と連なり、その教えは總持寺開山瑩山禅師へと受け継がれていきます。

道元禅師は義介の求道心、修行力は高く評価していたが、いまひとつ老婆心が足りないことを指摘している。義介は永平寺の典座職に就き、道元禅師の「典座教訓・喜心・老心・大心」の三心の心得を学びとる。

この老心が「老婆心」で、年老いた祖母が慈愛の心をもつて子や孫を可愛がり育てるような心、心を込めた切実な気持ちをもって他を思いやることから「老婆心切」とも言う。もちろん老婆に限りません、老若男女誰でも老婆心をもって人に接することが大切です。他を思いやる、そのことが自らの心をも浄らかにすることになります。

義介禅師は道元禅師の忠告に目覚め、懐奘禅師の法を嗣ぎ永平寺三世となる、後に金沢大乘寺に進み瑩山禅師を育てている。

典座：修行僧の食事を司る大切な役目。

典座教訓：道元禅師の典座職の心得を書いた書物。

喜心：喜びの心で、老心：他を思い心を込め、大心：広く大きな心で事にあたる。(三心)